

# 音声言語情報処理技術を用いた外国語学習支援 ～話す，聞く，会話する（+α）スキルの向上を目指して～

日 時： 2019年 5月31日（金） 12：30～13：45

場 所： 神戸大学 国際文化学研究科 学術交流ルーム（E411）

講 師： 峯松信明 教授

グローバル化の時代には、学生だけでなく移民労働者も円滑な口頭によるコミュニケーションのために新しい言語を学ぶ必要があります。この講演会では、音声技術、すなわち音声合成、音声認識、音声変換などが、学習者が会話やリスニングなどのスキルを向上させるためにどのように役立つかを説明します。また、「ネイティブの発音にどれだけ似ているのか」ではなく、学習者のスピーチの理解しやすさを評価の対象とする、新しいスピーチ評価フレームワークや、分かりやすさの客観的測定についてもお話します。

## 講師略歴

峯松信明。1995年、東京大学大学院工学研究科電子工学博士課程修了（博士（工学）），豊橋技術科学大学助手，東京大学大学院工学研究科助教授を経て2012年より現職。2002-2004年，スウェーデン王立工科大学（KTH）客員研究員，専門分野は音響工学，音声合成，音声認識など。特に，OJAD（オンライン日本語アクセント辞書）等の外国語発音習得のための様々なシステムを考察，開発している。大学時代にESSで演劇に取り組みれていた経歴があり，英語やその他の外国語の学習に大きな興味をもつ。2020年に開催される国際会議Speech Prosody 2020では，大会運営委員長を担当する。

お問い合わせ：林良子（rhayashi[at]kobe-u.ac.jp）

\*PPBB（Phonetics/Phonology Brown Bag）は言語・音声に興味のある方ならどなたでも参加できます。原則として毎週金曜日昼休みにB313で開催しています。詳しくは，アルビン・エレン（albin[at]people.kobe-u.ac.jp）まで